

注3

大学番号：公008

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

認可

横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻

注2

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人 横浜市立大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 医学教育推進課
学務・教務担当

職名・氏名

電話番号 045-787-2532

（夜間） 045-787-2532

F A X 045-787-2767

e-mail ycukng@yokohama-cu.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学部名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	18
7. その他全般的事項	19

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

公立大学法人 横浜市立大学

(2) 大 学 名

横浜市立大学

(3) 大学の位置

〒236-0004

神奈川県横浜市金沢区福浦3-9

(大学本部の位置：〒236-0027神奈川県横浜市金沢区瀬戸22番2号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フタミ ヨシユキ) 二見 良之 (現職就任年月：平成28年4月)		
学 長	(クボタ ヨシノブ) 窪田 吉信 (現職就任年月：平成26年4月)		
研究科長	(オオノ シゲオ) 大野 茂男 (現職就任年月：平成28年4月)	(タムラ トモヒコ) 田村 智彦 (現職就任年月：平成30年4月)	研究科長の交代 平成30年4月1日 (30)
専攻長	(マツシタ トシコ) 松下 年子 (現職就任年月：平成25年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)
 平成30年度に報告する内容 → (30)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は、平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
医学研究科 看護学専攻 博士後期課程 (博士：看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	3年	6人	18人	基礎となる学部等 医学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
		春季入学	その他の学期		
A 入学定員		6人	—人	0.83倍	
		()	()		
		[]	[]		
志願者数		5	—		
		(5)	(-)		
		[-]	[-]		
受験者数		5	—	0.83倍	
		(5)	(-)		
		[-]	[-]		
合格者数		5	—		
		(5)	(-)		
		[-]	[-]		
B 入学者数		5	—	0.83	
		(5)	(-)		
		[-]	[-]		
入学定員超過率 B/A		0.83			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成30年度		平成 年度		平成 年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	5	—						
	[-]	[-]	[]	[]	[]	[]	[]	
	(-)	(-)	()	()				
2 年次								
				[]	[]	[]	[]	
				()	()	()	()	
3 年次								
						[]	[]	
						()	()	
計	5							
	[-]			[]		[]		
	(-)			()		()		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入してください。**該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	5 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
合 計	5 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<大学院医学研究科看護学専攻博士後期課程>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	手	
共通科目	看護学研究論	1前	2			8						
	医療倫理論	1前	2			1						1
	医療統計学	1前	2			1						2
	看護学教育論	1-2前		2		1						1
	医療心理学	1-2前		2		1						1
専門科目	看護ケアシステム開発学特論	1前	2			1	1					
	看護管理学システム特論	1前	2			1						
	感染看護学開発特論	1前	2			1						
	健康支援看護学特論	1前	2			2						
	発達療養支援看護学特論	1前	2			1	2					
	老年看護学システム開発特論	1前	2			2						
	アディクション看護学開発特論	1前	2			1						
	地域ケアシステム看護学特論	1前	2			1	2					
演習科目	看護学特別演習	1後	2			10	5					
研究指導科目	看護学特別研究Ⅰ	1後	2			10	5					
	看護学特別研究Ⅱ	2通	2			10	5					
	看護学特別研究Ⅲ	3通	4			10	5					

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	手	
共通科目	看護学研究論	1前	2			8						
	医療倫理論	1前	2			1						1
	医療統計学	1前	2			1						2
	看護学教育論	1-2前		2		1						1
	医療心理学	1-2前		2		1						1
専門科目	看護ケアシステム開発学特論	1前	2			1	1					
	看護管理学システム特論	1前	2			1						
	感染看護学開発特論	1前	2			1						
	健康支援看護学特論	1前	2			2						
	発達療養支援看護学特論	1前	2			1	2					
	老年看護学システム開発特論	1前	2			2						
	アディクション看護学開発特論	1前	2			1						
	地域ケアシステム看護学特論	1前	2			1	1					1
演習科目	看護学特別演習	1後	2			10	4					
研究指導科目	看護学特別研究Ⅰ	1後	2			10	4					
	看護学特別研究Ⅱ	2通	2			10	4					
	看護学特別研究Ⅲ	3通	4			10	4					

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・准教授の異動（退職）により、地域ケアシステム看護学特論の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」及び「兼1」に変更
- ・准教授の異動（退職）により、「看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	10 科目	0 科目	17 科目	7 科目	10 科目	0 科目	17 科目	
[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 **該当なし**

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 **該当なし**

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

以下該当なし

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{17} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が，「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考				
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	校 舎 敷 地	131,837.99㎡	0㎡	0㎡	131,837.99㎡					
	運動場用地	46,200.90㎡	0㎡	0㎡	46,200.90㎡					
	小 計	178,038.89㎡	0㎡	0㎡	178,038.89㎡					
	そ の 他	74,028.38㎡	0㎡	0㎡	74,028.38㎡					
	合 計	252,067.27㎡	0㎡	0㎡	252,067.27㎡					
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
	106,056.19㎡ (106,056.19㎡)	0㎡ (0 ㎡)	0㎡ (0 ㎡)	106,056.19㎡ (106,056.19㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設					
	50室	101室	24室	8室 (補助職員 4人)	4室 (補助職員 3人)					
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成30年3月 専任准教授1名が異動 (退職)のため(30)				
	医学研究科看護学専攻博士後期課程			14 15 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標 本	・ 図書、学術雑誌、 視聴覚資料とも看護学科 および看護学専攻博士 前期課程と共用 ・ 電子ジャーナルは 特定不能のため、 大学全体の数			
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕					電子ジャーナル		
		冊	種					〔うち外国書〕		
	博士後期課程 看護学専攻	8,424 [770] (8,424 [770])	561 [41] (561 [41])	21,772 [20,102] (21,772 [20,102])	260 (260)	- (-)		- (-)		
計	8,424 [770] (8,424 [770])	561 [41] (561 [41])	21,772 [20,102] (21,772 [20,102])	260 (260)	- (-)	- (-)				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	3.330㎡		239席		194,083冊					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	10,671.63㎡		テニスコート							
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	・ 図書費には 電子ジャーナル・ データベースの設備費 (運用コスト含む)を 含む。 ・ 図書購入費は 医学部・医学研究科 全体で共用。	
		教員1人当り研究費等	550千円	550千円	図書購入費	187,776千円	187,776千円	187,776千円		
		共 同 研 究 費 等	0千円	0千円	設備購入費	710千円	710千円	0千円		
	学生1人当り 納付金 ①卒業生 ②市内出身 者 ③市外 出身者	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		① 676千円	① 535千円	① 535千円	千円	千円	千円			
		② 826千円	② 535千円	② 535千円	千円	千円	千円			
		③ 967千円	③ 535千円	③ 535千円	千円	千円	千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要			横浜市からの運営交付金等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 の 名 称	横 浜 市 立 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
データサイエンス学部 データサイエンス学科	4	60	-	60	学士(データサイエンス)	1.08	平成 30年度	神奈川県横浜市金沢区 瀬戸22番2号	
国際総合科学部 国際総合科学科	4	650	-	2,600	学士(国際教養学) 学士(学術) 学士(経営学) 学士(経済学) 学士(会計学) 学士(理学)	1.13	平成 17年度	神奈川県横浜市金沢区 瀬戸22番2号	
医学部 医学科 看護学科	6 4	90 100	- -	540 400	学士(医学) 学士(看護学)	1 1.01	昭和 27年度	神奈川県横浜市金沢区 福浦3丁目9番地	
大学院都市社会文化研究科 都市社会文化専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	20 3	- -	40 9	修士(学術) 博士(学術)	0.87 1.21	平成 21年度	神奈川県横浜市金沢区 瀬戸22番2号	
大学院国際マネジメント研究科 国際マネジメント専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	20 3	- -	40 9	修士(経営学) 修士(経済学) 博士(経営学) 博士(経済学)	1.07 0.33	平成 21年度 平成 21年度	神奈川県横浜市金沢区 瀬戸22番2号 神奈川県横浜市金沢区 瀬戸22番2号	
大学院生命ナノシステム科学研究科 物質システム科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程) 生命環境システム科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3 2 3	30 5 30 5	- - - -	60 15 60 15	修士(理学) 博士(理学) 修士(理学) 博士(理学)	0.96 0.53 1.08 0.53	平成 21年度 平成 21年度	神奈川県横浜市金沢区 瀬戸22番2号 神奈川県横浜市金沢区 瀬戸22番2号	
大学院生命医科学研究科 生命医科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	40 10	- -	80 30	修士(理学) 博士(理学)	0.45 0.48	平成 25年度	神奈川県横浜市鶴見区 末広町1丁目7番29号	
大学院医学研究科 医科学専攻 (修士課程) (博士課程) 看護学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 4 2 3	20 60 20 6	- - - -	40 240 40 18	修士(医科学) 博士(医学) 修士(看護学) 博士(看護学)	1.05 1.18 1.12 0.83	平成 10年度 平成 22年度 平成 22年度 平成 30年度	神奈川県横浜市金沢区 福浦3丁目9番地 神奈川県横浜市金沢区 福浦3丁目9番地 神奈川県横浜市金沢区 福浦3丁目9番地 神奈川県横浜市金沢区 福浦3丁目9番地	平成28年度定員増(8人)

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)。

大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医学研究科看護学専攻博士後期課程>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名
専	教授	佐藤 政枝 <平成30年4月> 看護学研究論 看護学教育論 看護ケアシステム開 発学特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ	専	教授	佐藤 政枝 <平成30年4月> 看護学研究論 看護学教育論 看護ケアシステム開 発学特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ
専	教授	勝山(青木) 貴美子 <平成30年4月> 看護学研究論 看護管理学システム 特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ	専	教授	勝山(青木) 貴美子 <平成30年4月> 看護学研究論 看護管理学システム 特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ
専	教授	渡部 節子 <平成30年4月> 看護学研究論 感染看護学開発特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ	専	教授	渡部 節子 <平成30年4月> 看護学研究論 感染看護学開発特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ
専	教授	赤瀬 智子 <平成30年4月> 看護学研究論 健康支援看護学特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ	専	教授	赤瀬 智子 <平成30年4月> 看護学研究論 健康支援看護学特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ
専	教授	中村 幸代 <平成30年4月> 医療倫理論 健康支援看護学特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ	専	教授	中村 幸代 <平成30年4月> 医療倫理論 健康支援看護学特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ
専	教授	廣瀬 幸美 <平成30年4月> 看護学研究論 医療統計学 発達療養支援看護学 特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ	専	教授	廣瀬 幸美 <平成30年4月> 看護学研究論 医療統計学 発達療養支援看護学 特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ
専	教授	叶谷 由佳 <平成30年4月> 看護学研究論 老年看護学システム 開発特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ	専	教授	叶谷 由佳 <平成30年4月> 看護学研究論 老年看護学システム 開発特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ
専	教授	柏木 聖代 <平成30年4月> 老年看護学システム 開発特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ	専	教授	柏木 聖代 <平成30年4月> 老年看護学システム 開発特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ
専	教授	松下 年子 <平成30年4月> 看護学研究論 アディクション看護 学開発特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ	専	教授	松下 年子 <平成30年4月> 看護学研究論 アディクション看護 学開発特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ
専	教授	田高 悦子 <平成30年4月> 看護学研究論 地域ケアシステム看 護学特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ	専	教授	田高 悦子 <平成30年4月> 看護学研究論 地域ケアシステム看 護学特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	准教授	塚越 みどり ＜平成30年4月＞ 看護ケアシステム開 発学特論 看護学特別演習
専	准教授	佐藤 朝美 ＜平成30年4月＞ 発達療養支援看護学 特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ
専	准教授	落合 亮太 ＜平成30年4月＞ 発達療養支援看護学 特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ
専	准教授	大河内 彩子 ＜平成30年4月＞ 地域ケアシステム看 護学特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ
専	准教授	有本 梓 ＜平成30年4月＞ 地域ケアシステム看 護学特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ
兼任	教授	大橋 健一 ＜平成30年4月＞ 医療倫理論
兼任	教授	富田 真佐子 ＜平成30年4月＞ 医療統計学
兼任	講師	入江 慎治 ＜平成30年4月＞ 医療統計学
兼任	講師	上園 美香 ＜平成30年4月＞ 看護学教育論
兼任	講師	角山 富雄 ＜平成30年4月＞ 医療心理学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	准教授	塚越 みどり ＜平成30年4月＞ 看護ケアシステム開 発学特論 看護学特別演習
専	准教授	佐藤 朝美 ＜平成30年4月＞ 発達療養支援看護学 特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ
専	准教授	落合 亮太 ＜平成30年4月＞ 発達療養支援看護学 特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ
兼任	教授	大河内 彩子 ＜平成30年4月＞ 地域ケアシステム看 護学特論
専	准教授	有本 梓 ＜平成30年4月＞ 地域ケアシステム看 護学特論 看護学特別演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅲ
兼任	教授	大橋 健一 ＜平成30年4月＞ 医療倫理論
兼任	教授	富田 真佐子 ＜平成30年4月＞ 医療統計学
兼任	准教授	入江 慎治 ＜平成30年4月＞ 医療統計学
兼任	講師	上園 美香 ＜平成30年4月＞ 看護学教育論
兼任	講師	角山 富雄 ＜平成30年4月＞ 医療心理学

・設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。

その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。

・年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。

・専任、兼任、兼任の順に記入してください。

・不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

・大河内彰子准教授、平成30年3月異動（退職）及び平成30年4月より兼任教員として採用。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
6	6	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
10	5	0	0	15	10	4	0	0	14	10	4	0	0	14
(10)	(4)	(0)	(0)	(14)						[]	[Δ1]	[]	[]	[Δ1]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
15	0	0			9	4	1			9	4	1		
(9)	(4)	(1)								[]	[]	[]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を審査済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）。および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{15} = 93.33 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{14} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	准教授	大河内 彩子	選択	地域ケアシステム看護学特論	②			
			必修	看護学特別演習	③			
			必修	看護学特別研究Ⅰ	③			
			必修	看護学特別研究Ⅱ	③			
			必修	看護学特別研究Ⅲ	③			
合計（D）					後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人		必修	4 科目	必修	0 科目	必修	4 科目
			選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
			自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
			計	5 科目	計	0 科目	計	4 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および() 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

該当なし

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	H28. 3. 31付け……………のため辞任 (28)		
			選択	◆◆基礎	②			
			必修	☆☆演習	③			
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	H30. 3. 31付け……………のため辞任 (30)		
			必修	▲▲実習	③			
			必修	◇◇特論	①			
合 計 (F)					後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人	必修	#VALUE!	科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	0	科目	計	0	科目	計

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)				後任補充状況の集計(E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)	
1	人	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	4 科目
		選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	0 科目	計	4 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{15} = 6.66 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

該当なし

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	H28.3.31付け65歳で定年退職（28）		
			選択	◆◆基礎	②			
			必修	☆☆演習	③			
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	H30.3.31付け65歳で定年退職（30）		
			必修	▲▲実習	③			
			必修	◇◇特論	①			
合計					後任補充状況の集計			
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人		必修	#VALUE! 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
			選択	#VALUE! 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
			自由	#VALUE! 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
			計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大河内彰子准教授の講義については、同教員が非常勤講師として担当するとともに、同分野を担当する予定であった田高悦子教授、及び有本梓准教授が代替対応を行うため、影響はない。また、学生に対してはオリエンテーション時に周知済みである。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

該当なし

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)	留意事項	未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・大学設置基準に抵触 するため、改めるこ と。(△△学部△△学 科)	是正意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・××学部××学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(□□学 科、■●学科)の～す ること。	改善意見	履行済

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の
寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等
について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を
全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入して
ください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<医学研究科 看護学専攻 博士後期課程>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>記入例)</p> <p>① 修了要件単位数 124単位 必修科目〇〇単位、選択科目〇〇単位</p> <p>② 施設・設備</p> <p>a 講義室〇室 (〇㎡)</p> <p>b 自習室〇室 (〇㎡)</p> <p>c 図書〇〇冊</p>	<p>① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)</p> <p>② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。</p>

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学では、全学で教育研究の理念と目標を実現し、一層の充実を図ることを目的とした自己点検・評価を行うため、全学の委員会として、「教育研究自己点検評価委員会」を設置している。構成員は学長を委員長とし、副学長、各学部・研究科長及び教育・研究系事務組織の部長及び課長級で構成されている。また、医学部教員の資質向上を目的とした「医学部医学科・看護学科合同FD委員会」、および、看護学科・看護学専攻教員の資質向上を目的とした「看護学科・看護学専攻FD委員会」を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>「教育研究自己点検評価委員会」は年に3回もしくは2回開催しており、平成30年度第1回は5月8日に開催した。「医学部医学科・看護学科合同FD委員会」については年3回程度、「看護学科・看護学専攻FD委員会」についても年3回程度、それぞれの委員が原則全員参加の上、委員会を開催している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>1. 教育研究自己点検評価委員会(規程第2条)</p> <p>(1) 大学の教育研究等の向上に資するための自己点検・評価の実施に関すること。</p> <p>(2) 大学が受ける認証評価の教育研究等に関わる自己点検・評価の実施に関すること。</p> <p>(3) 地方独立行政法人法に定められた業実および法人評価委員会による評価に関する事項のうち、教育研究に関すること。</p> <p>(4) その他、大学の教育研究自己点検・評価に関すること。</p> <p>2. 医学部医学科・看護学科合同FD委員会</p> <p>年1回行うFDの企画・立案・実施・振り返りを行うとともに、医学科および看護学科1年生を対象とした教養講義「医療と社会」の運営を審議している。</p> <p>3. 看護学科・看護学専攻FD委員会</p> <p>年1回行う看護独自FDのため、その企画・立案・実施・振り返りについて審議している。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>・教育研究自己点検評価委員会では、法人中期計画・年度計画をもとに、各学部・研究科で当年度に取り組む教育・研究・FD等の課題解決のための計画を審議・報告し、学長や他学部・研究科等の意見も取り入れ、実施計画の進捗管理及び評価を行っている。</p> <p>・医学部医学科・看護学科合同FD委員会及び看護学科・看護学専攻FD委員会では、学外講師による参加型講演を行っている。</p> <p>b 実施方法</p> <p>・教育研究自己点検評価委員会では、各学部・研究科で作成された計画が中期計画・年度計画に沿った内容であり、計画達成に向けたものとなっているか、各学部・研究科の長所を伸ばす取組であるか、またそれぞれの取組が実質化され、成果が学生へ還元されているものであるかを委員長である学長以下で確認し、評価している。</p> <p>・学外講師による参加型講演会を開催し、グループワーク等を含めたFDを実施している。</p>
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・教育研究自己点検評価委員会は、平成29年度は年4回開催し、当年度計画の報告・確認、進捗報告、目標達成と成果の報告が行われた。委員は毎回ほぼ全員参加していた。
- ・医学部医学科・看護学科合同FD
株式会社アクリート・ワークス 代表パートナーによる講演
「ファシリテーションスキルの向上について」
参加者：62名
- ・看護学科・看護学専攻FD
東京医科大学看護学科基礎看護学東京医科大学病院 シミュレーションセンター長による講演
「看護のためのシミュレーション教育」
参加者：38名
- ・全学共通のSDとして「コンプライアンスセミナー」を年2回開催し、欠席者に対しては当日の講演内容をビデオ配信し、教職員全員が受講した。
- ・eラーニングによるSDとして、「ハラスメント防止研修」を行い、各自がハラスメントに対する理解を深めた。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・教育研究自己点検評価については、2月の評価を踏まえ、課題をさらに翌年度の計画へ反映させている。
- ・FD講演会を定期的に行うことにより、教育・研究への取り組み方を見直し、充実などを図っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・講義・演習・実習終了直前に、受講した学生に対してアンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・各科目の責任者に対し、アンケートの分析結果を開示し、次回講義の改善を図っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成30年4月に設置した医学研究科看護学専攻博士後期課程については、平成29年度中に入試を行い、第1期生となる学生（5名）が無事入学した。入学後、新入生オリエンテーションを行い、本学の成り立ちから現在までの遍歴や、法人として有する附属2病院との連携体制、博士後期課程の設置の意図と目指す人材育成像について説明を行った。課程を進めていくにあたっては、今後も益々複雑・多様化していく看護ニーズに対応できる看護の実践スキルやシステム構築、看護理論を開発できる看護学研究者や、そのような看護ニーズに対応できる看護実践専門職、高度実践看護師を含む高度看護実践専門職を教授できる看護学教育者、さらに、臨床や行政で指導的で、より高度な専門業務を担う看護職者を育成することを目指して、細やかな指導を行っていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

平成30年8月下旬 公表

b 公表方法

大学ウェブサイト上に公開予定（平成30年8月下旬を予定）

③ 認証評価を受ける計画

平成33年度に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の評価を受ける予定。（前回受審は平成27年度）

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無

(☒ 有 ・ ☐ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期

(平成30年 8月 下旬)

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。